

下水道について

生目中学校

三年

坪田

萌々果

下水道と聞いて何を思い浮かべますか。

私は料理や洗濯で生じる生活排水や降水などの汚い水が流れている施設を思い浮かべました。役割の他に何かあるのではなにかと思いい下水道について詳しく調べることになりました。まず下水道の役割についてです。下水道には四つの役割があります。一つ目は街

を清潔にする役割です。私たちが家庭で使った汚れた水は家の下にある排水管を使って下水道管に流れていき、下水処理場に運ばれていきます。下水道が整備されることで汚水が直接的に流れなくなるため、街が清潔に保たれ、ハエ・蚊などの害水や悪臭の発生も防ぐことができます。二つ目は街を浸水から守る役割です。近年の雨の降り方が変わってきています。一時間五十ミリを超える集中豪雨の年間発件数が

ここ数年増えてきているほか、短時間で局地
 的に大量の雨が降る「ゲリラ豪雨」の発生件
 数も年々増えていきます。市街地の雨をすみや
 かに排除し、街に雨水が溜まり、水浸しにな
 らないようにしてくれています。
 三つ目は、身近な環境を守る役割です。街
 や工場から下水道を通して流れてきた汚水は
 下水処理場に運ばれます。下水処理場でさま
 ざまな処理を行い、きれいになつた水は、消毒
 して川や海に戻します。

四つ目は、エネルギー・資源を創る役割で
 す。下水処理場では、汚水をきれいに処理す
 るだけでなく、下水処理場できれいな「た
 水」を再生水として利用したり、下水処理の過
 程で発生したバイオガスや自動車燃料や都市
 ガスとして利用したり、下水汚泥から肥料を
 作つたりなど、エネルギー・資源を創りだし
 ています。
 次に、下水処理場のしくみについてです。

運ばれた下水は、微生物によってきれいに

さいます。微生物は下水処理の主要と言われ
 ており、汚水を食べてくれるのです。私
 が日々の生活の中で食事をし、エネルギーを
 得ているように、微生物は下水中の汚水・
 有機物を食べてエネルギーを得ます。そし
 てまた私たち人間と同じように、微生物が活動
 するためには酸素が必要です。このため、下
 水処理場では反応槽という水槽の中に空気を
 入れていきます。そして増殖した微生物は下
 水処理内で再利用されます。自然の生物の力
 を借り、さらにリサイクルするという方法
 はエコに繋がると私は思いました。

最後に、下水道や環境を守るために私
 たちが、私達が環境のためにできることは
 たくさんあります。台所では食べ残し、飲
 み残しを減らし、よごしのものを流さな
 い。三口の水を流すこと、一つ目は流し
 の排水口に水きりネットやガーゼ、不用
 になったスト
 ン、クセ、つけ、る、こ、と、で、す。

ニつ目は、食器についたまごみをスクレイ
 パーやゴムペラで取り除いたり、キッチンパ
 ーや新聞紙でふき取りたりしてから洗う
 ことではす。
 三つ目は、残った油は吸収剤や新聞紙など
 に吸わせて可燃ごみとして捨てることではす。
 私は、台所だけで工夫することだが、三つもある
 ことを初めて知りました。今まで食器につい
 たまごみをふき取りおそのまま流していたの
 で、これから気を付けてようと思いました。

洗濯では、洗剤を使いすぎないことや洗濯
 の回数も適切にする事です。また、汚れた
 水を減らすために汚水がひどいものは洗濯
 前に埃を叩いたり、簡単に手洗いすること
 も大切です。
 お風呂では、お風呂の水を洗濯や風呂場の
 掃除などで利用することです。また、臭いや
 ぬめりの発生を防ぐために排水口をこまめに
 清掃し、ごみを溜まないようにすることでも大
 切です。今まで排水口を気にしたことがなかっ

たので、自分がお風呂に入るときは、湯、又は中性洗剤を使うこととです。中性洗剤、酸性の洗剤のようには種類があることを初めに知りました。このよいうに、下水道には私たちの生活を守る多くの役割があることを知りました。また、これからは環境を守るために一つでも多く自分で分ができることを探し、実践していかうと思

います。